

ArcticSun 5000 簡易取扱説明書 <基本的な使い方>

1 電源の立ち上げ～準備

1

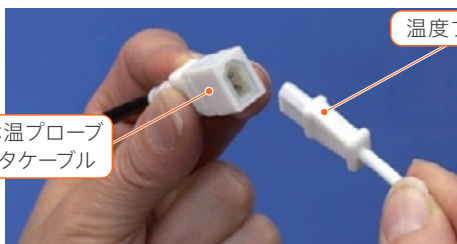


患者体温プローブ
アダプタケーブル

電源スイッチ

AC電源に電源コードを挿入し【電源スイッチ】をONにします。
約1分程で、「操作の選択」画面が表示されます。

2

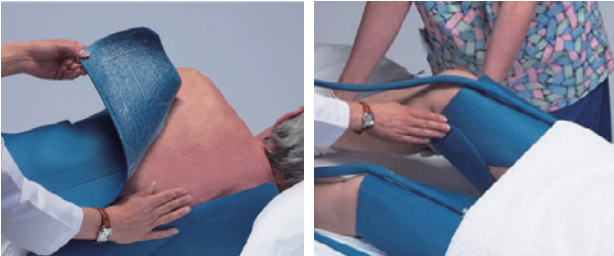


温度プローブ

患者体温プローブ
アダプタケーブル

使用する【温度プローブ】（食道温／膀胱温／直腸温）を患者さんに装着し、もう一方を【患者体温プローブアダプタケーブル】に差し込みます。

3



適正なサイズのジェルパッドを選択し、患者さんに装着します。

※パッドのサイズ表・装着方法は、別紙の簡易取扱説明書【簡易取扱説明書 Arcticジェルパッド 体重16kg未満】
【簡易取扱説明書 Arcticジェルパッド 体重16kg以上】をご参照ください。

4



パッド側コネクタと注水ラインマニホールドを接続します。注水ラインマニホールドには青と白のラインが入っていますが、どちらの側からでも接続できます。

2 冷却開始

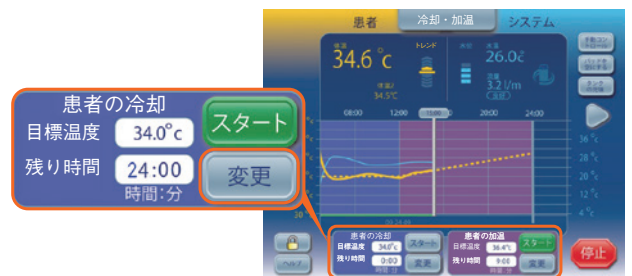
1



冷却・加温

画面の新規患者の【冷却・加温】ボタンを押します。
※平熱維持は目標温度を維持したい時のみ選択します。

2



【患者の冷却】ウィンドウの【変更】ボタンを押します。

3



目標温度

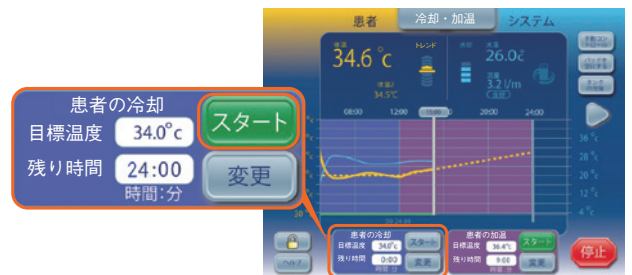
患者冷却時間

上下ボタン

保存

【目標温度】と【患者冷却時間】を上下ボタンで設定し、【保存】を押します。

4



【患者の冷却】ウィンドウの【スタート】ボタンを押します。冷却が開始されます。

3 冷却終了～加温開始

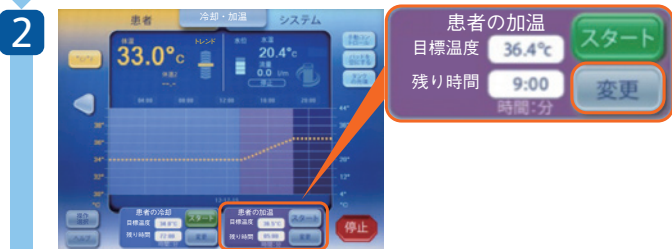


冷却維持時間が終了すると、[105患者の冷却終了]の警報が表示されます。

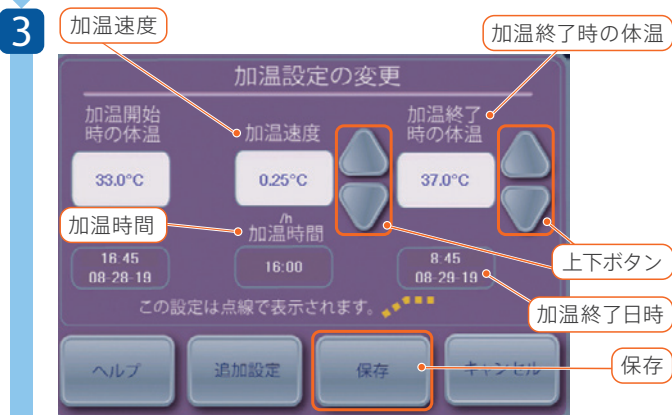
【閉じる】ボタンを押し、加温の設定に移ります。

※加温開始の設定が[自動]の場合、警報は表示されず、自動的に加温に移行します。

※この警報が鳴っても、本体は動作を停止せず、冷却を維持します。次の操作に進まない場合、その後も、2分毎に警報が発生します。



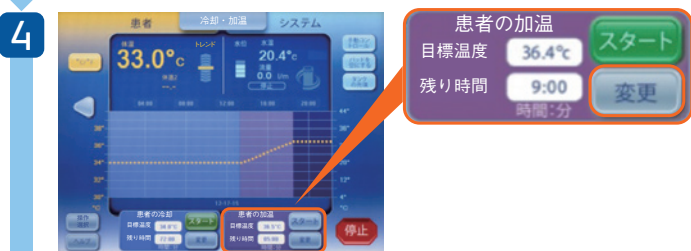
[患者の加温]ウィンドウの【変更】ボタンを押します。



[加温速度]と[加温終了時の体温]を上下ボタンで設定し、【保存】を押します。

※両方設定すると、連動して、[到達時間]と[加温終了日時]が表示されます。

※0.01°C/時から設定可能です。



[患者の加温]ウィンドウの【スタート】ボタンを押します。

4 加温終了～操作終了/操作中断



加温終了後は自動的に平熱維持へ移行します。

【停止】ボタンを押すと、操作が終了します。

※加温終了時、アラームは鳴りません。

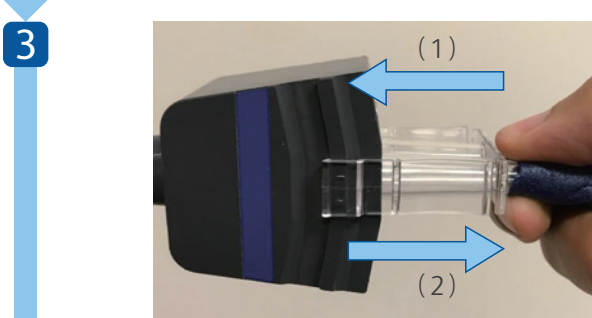
※平熱維持に移行した場合、経過時間が表示されます。



【停止】ボタンを押すと [パッドを空にする] ウィンドウが表示されます。

【スタート】ボタンを押すと約30秒でパッド内の水を本体へ回収します。

※検査等で、注水ラインとパッドの接続を取り外す際は、必ずこの操作を行ってください。



[パッドを空にする] ウィンドウが消えたら、水の回収は終了です。

パッドを注水ラインからはずしてください。

※注水ラインとパッドの接続を取り外す際は一度押し込んで(1)から抜いて(2)ください。



【電源スイッチ】をOFFにします。

※操作中断の場合は本体の【電源スイッチ】をOFFにする必要はありません。

5 操作中断～再開方法

停止モードによる 操作の中断・再開方法



【停止】ボタンを押し、パッド内の水を本体に回収後、パッドを注水ラインから外します。[停止モード]となり、操作は中断されます。

※ [4 加温終了~操作終了/操作中断] をご参照ください。



操作再開する場合は、パッドと注水ラインを接続します。



必要に応じて、[患者の冷却] 又は [患者の加温] の設定を行います。



【スタート】ボタンを押します。

※ 緑色の【スタート】ボタンが、操作停止前の設定になります。

電源スイッチをON/OFFすることによる 操作の中断・再開方法



【停止】ボタンを押し、パッド内の水を本体に回収し、パッドを注水ラインから外した後、【電源スイッチ】をOFFにします。

※ [4 加温終了~操作終了/操作中断] をご参照ください。



操作再開する場合は、【電源スイッチ】をONにし、パッドと注水ラインを接続します。

3 新規患者さんの場合



新規患者の【冷却・加温】ボタンを押し、[新規患者の確定] ウィンドウの【継続】ボタンを押します。

現在の患者さんを継続する場合



右側の【現在の患者を継続】ボタンを押します。

必要に応じて、[患者の冷却] 又は [患者の加温] の設定を行います。

※ [5 操作中断～再開方法【停止モードによる操作の中断・再開方法】の[3] をご参照ください。

【スタート】ボタンを押します。
※ 緑色の【スタート】ボタンが、操作停止前の設定になります。

※ [5 操作中断～再開方法【停止モードによる操作の中断・再開方法】の[4] をご参照ください。

注水手順(本体タンク)



4.0Lの滅菌水の中に〔循環水用洗浄液〕を加えます。



水位

タンクの充填

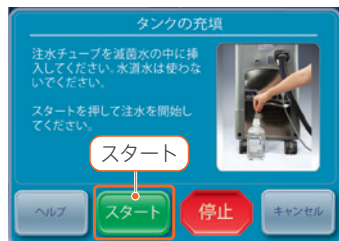
【電源スイッチ】をONにし、【操作の選択】→【冷却・加温】へ進み、画面右上にある【タンクの充填】ボタンを押します。

※本体タンクの水が空の場合に電源を入ると、「タンク空」のアラームが鳴ります。

※水位が3目盛り以上での使用を推奨しています。

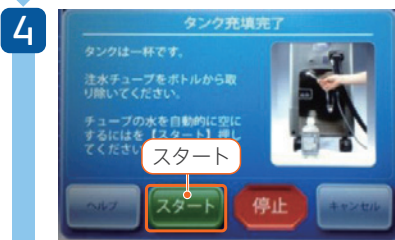


注入チューブ



スタート

ボトル内に注水チューブを挿入し、[タンクの充填]ウィンドウの【スタート】ボタンを押します。



スタート



タンクが一杯になると、[タンク充填完了]ウィンドウが表示されます。

注水チューブをボトルから抜き、【スタート】ボタンを押します。

(注水チューブ内の水を回収するため)

[タンク充填完了]ウィンドウの表示が消えたら、注水チューブを本体背面のホルダに戻します。以上で完了です。

排水手順(本体タンク)



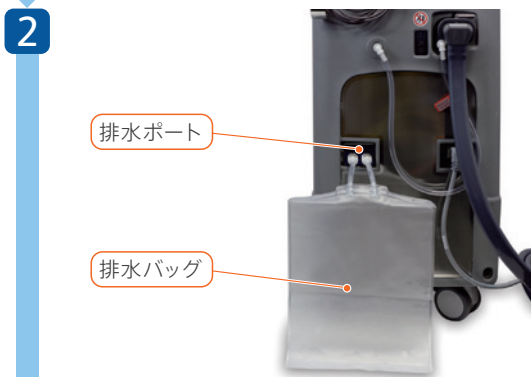
電源スイッチ

【電源スイッチ】がOFFであることを確認します。

※操作終了後はパッド内の水を本体に回収してから、

【電源スイッチ】をOFFにしてください。

(【4 加温終了～操作終了/操作中断】参照)



排水ポート

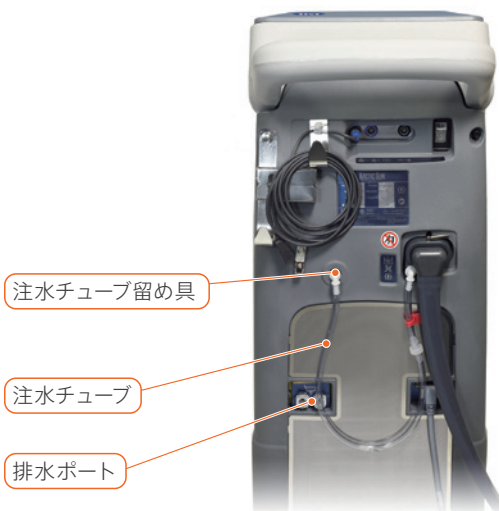
排水バッグ

排水バッグを排水ポートに差し込みます。
排水バッグに水が流れます。

3 排水バッグが満杯になったら、水を棄て、②の動作に戻ります。水の流出が無くなるまで繰り返します。

4 排水ポートより、水の流出が無くなれば、完了です。

本体タンクの水は半年に一度、交換してください。



注水チューブ留め具

注水チューブ

排水ポート

本体背面

・事前に必ず添付文書を読み、本製品の使用目的、禁忌・禁止、警告、使用上の注意等を守り、使用方法に従って正しくご使用ください。
本製品の添付文書は、独立行政法人医薬品医療機器総合機構(PMDA)の医薬品医療機器情報提供ホームページでも閲覧できます。

・製品の仕様・形状等は、改良等の理由により予告なく変更する場合がございますので、あらかじめご了承ください。

製造販売業者

株式会社メディコン

本社 大阪市中央区平野町2丁目5-8 ☎0120-036-541

crbard.jp

BD, the BD Logo are trademarks of Becton, Dickinson and Company or its affiliates. © 2020 BD. All rights reserved.

2020.2.2.000 UCC_M4040

